

よっかいち 市議会 だより

6月定例会議会号



デジタルで
議会を
もっと身近に



四日市市議会 × まちだん

あなたと議会をつなぐ

特集

あなたと議会をつなぐウェブサイト
「四日市市議会×まちだん」公開中！



四日市市議会
×
まちだん



市議会HP
情報発信中！

市民と議会をつなぐウェブサイト

四日市市議会 × まちだん

「四日市市議会×まちだん」は、市民と議会の距離をなくし、双方向でつながるウェブサイトです。さまざまな議会情報をインターネット上で閲覧できるため、パソコンやスマートフォンがあれば、どこでも動画の視聴や議員への相談などができます。市議会では、公式ホームページ特設サイトで、新しい形の情報発信と皆さまのご意見の聴取に取り組みます。

議員に相談する

議員に直接相談することができます。どの議員に相談したらよいか分からない時は、議員検索機能を使い、議員の「得意な分野」から絞り込むことができます。**お気軽にご相談ください！**



議員を知る

議員のプロフィールをイラストで分かりやすく紹介。議員の思いや経歴、人となりを知ることができます。



議会活動を見る

一般質問のイラスト化や一般質問を終えての30秒の感想動画など、議会の活動状況を見ることができます。



その他の機能

議会だより、議会の日程、委員会活動などを見ることができます。また、アンケートに回答することができます。



アクセス方法

スマートフォン・タブレットから

パソコンから

市議会のホームページから



議員に相談できます

議員に相談するにはまず会員登録（無料）

1. サイトの上部にある会員登録を選択



2. メールアドレス、パスワードを設定し、「利用規約に同意する」にチェックを入れ、「会員登録」を選択



3. サポートセンターからメールが届いたら、メールで「会員登録」を選択し、氏名などの情報を入力



実際の相談例

こんな相談がありました

一般質問を傍聴しました。
〇〇議員が取り上げた、
子宮頸がんワクチンの啓発活動
について、私も同じ思いです。
何か一緒に活動できないでしょうか？

傍聴ありがとうございます。
ぜひ、一緒をお願いいたします。
私も子宮頸がんワクチンの接種率を
上げることを目標としていますので、
ご協力よろしくお願ひします。

会員登録（無料）

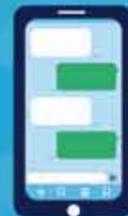


基本情報を入力し会員登録

相談したい議員を検索



チャットでメッセージを送信



委員会審査

常任委員会の審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

総務常任委員会

税制の見直しについて考え方は？

◆市税条例の一部改正

問 地価の上昇などで資産価値が高まる中、指定区域内でオープンスペースを整備した土地への固定資産税を軽減するのは、地権者にとって有利になり過ぎるのではないかと。

答 中心市街地の整備に向けた取り組みを税制面で後押しするため、税額が最も低くなる特例割合を設定する。

教育民生常任委員会

真空冷却機の設置の効果は？

◆動産の取得 - 真空冷却機 7台-

問 真空冷却機の設置で見込まれる効果を確認したい。

答 給食の調理中、食材を冷却するのにかかる時間が短縮されることに加え、加熱後の食材をざるに入れたまま真空冷却機に入れられるため、作業効率と食品衛生の面で改善が見込まれる。

産業生活常任委員会

温水プール改築工事の費用は適正なのか？

◆工事請負契約の締結

— 温水プール改築工事（建築工事）— ほか2件

問 入札予定価格の算出時に徴収した見積もりの価格は適正だったのか。また、その価格の妥当性をどのように判断しているのか。

答 複数の見積もりを徴収し、専門知識を有する職員が内容を精査し、積算している。

都市・環境常任委員会

アスベスト含有建材の適正な処分

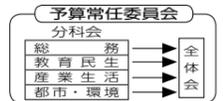
◆工事請負契約の締結 - 旧北部清掃工場ほか解体工事-

問 除去したアスベスト含有建材はどのように廃棄するのか。

答 工事作業中は外部への流出防止を図るとともに、産業廃棄物または特別管理産業廃棄物として、産業廃棄物管理票での管理を徹底し、専門業者が安全かつ適正に処理する。

予算常任委員会

予算は、まず、四つの分科会で詳細に審査を行います。その後、全体会で各分科会から審査の経過と結果を報告し、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。



分科会

総務分科会

南消防署西南出張所の移転による効果は？

◆消防出張所整備事業費

問 西南出張所の移転は、通報受信から8分以内の放水開始および5分以内の現場での救急活動開始を目指す上で、どのような効果があるのか。

答 現場までの到着時間の短縮や、事務所から車庫までの距離が短くなることにより、出庫までの時間短縮を見込んでいる。

教育民生分科会

ワクチン接種費用の自己負担金は？

◆高齢者新型コロナワクチン事業費

問 ワクチン接種費用の自己負担金の金額は、全国的に同じような水準になると考えてよいか。

答 県内では本市より高い金額を検討している市もあるが、北勢地域の市町では、本市と同水準の自己負担額が想定されている。

都市・環境分科会

耐震補強に対する補助金は？

◆耐震化促進事業費（木造住宅耐震補強補助制度）

問 1回で建物全体の耐震補強工事を行うより、2回に分けて工事する段階改修は工事費用が高くなるか、段階改修の方が補助金額も高くなるのか。

答 金銭面や高齢であることを理由に、一度に耐震工事を行うことが難しい所有者に対し、段階的にでも耐震補強を行ってほしいと考えている。最終的には一度に耐震補強をするのと同程度の耐震性能となるため、補助金額は一度に工事を行う場合と同額としたい。

産業生活分科会

農産物の収穫量を増やすには？

◆産地生産基盤パワーアップ事業補助金および麦・大豆生産技術向上事業補助金

問 10アール当たりの大豆の平均収穫量はどの程度か。また、新品種も導入されつつあるが、効果はどうか。

答 10アール当たり平均収穫量は100kgを割り込んでいる。生産者は収穫量の増加に取り組んでいるが、大雨や高温などの影響もあり難しい。現在、新たな品種への転換を県全体で進めているため、動向を注視していきたい。

全体会

◆全体会において、各分科会からの報告を受け議論を行いました。委員から全体会で審査すべきものとして追加提案された事項はなく、令和6年度一般会計補正予算（第2号および第3号）のほか、特別会計の補正予算についても、いずれも別段異議はありませんでした。

一般質問した議員と項目（質問順）

村上 暁	・有機フッ素化合物（PFAS）について ・同性カップルの住民票続き柄記載について ・新図書館移転について
太田 紀子	・大阪・関西万博の学校招待について ・知っていますか？「高次脳機能障害」という障害を
森 智子	・食品ロス削減へ、さらなる推進を！ ・障がい者の医療費助成について
山口 智也	・児童発達支援センターあけぼの学園における児童発達支援事業の土曜体制の拡充を！ ・ブックスタート事業を本市でも早期に実施を！ ・自治会をDX！「デジタル回覧板」導入で自治会活動の負担軽減を！
荒木 美幸	・カスタマー・ハラスメント防止対策について
中川 雅晶	・軟骨伝導イヤホンを活用したコミュニケーション保障について
森 康哲	・中学校給食について ・汲み取りトイレのし尿収集について
森川 慎	・認定こども園における1号認定受け入れについて ・人口減少・成熟経済下の自治体経営について
荻須 智之	・水道水の安全と安定性について
上 麻理	・市民意見と行政の感覚のずれ、について 市政アンケート結果・市民の意見を参考にして
笹井 絹予	・市民の健康と本市の展望を考える
伊世 利子	・四日市市の食糧支援について ・教育を取り巻く現状と課題 ・終活支援について
小田あけみ	・小規模特認校制度について 広報よっかいちの反響は？ どのような特色ある学校にしていくのか？ ・小1の壁問題について 朝の子供の預け先をどうするのか？
後藤 純子	・カスタマーハラスメントについて ～防止に向けて～ ・ローカル10,000プロジェクトについて ～地域経済の好循環の拡大を図ってはどうか～
樋口 龍馬	・住みたくなるまち四日市を目指して
辻 裕登	・学童の昼食提供支援 ・今どきに合わせたマリッジサポートを ・EV・FCV公用車の市民向けカーシェア
谷口 周司	・「中心市街地再開発」その先を考える！！
山田 知美	・「子どもを取り巻く諸課題について」
平野 貴之	・災害後も生き残るために ・ふるさとの生きものはどこへ ～ミシシippアカミミガメから生態系を守れ～
今村 厚美	・どの部活入ろうかな？ ・子どもの体力について
水谷 一未	・中央通り再編に伴う工事に関する市民の不安解消を！ ～交通弱者へのきめ細かい対応を～ ・福祉避難所の取り組みについて ～要配慮者をどう守るのか～
小林 博次	・不登校児童生徒の対策（フリースクール支援、夜間中学校の開設）について ・安心して住めるまちづくりの推進について
田中 徹	・四日市市の「高齢者の健康」を守るために！ ・「食育」の啓発から、食品ロス削減に取り組もう！

一般質問から

一般質問は、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめるものです。

6月定例会月議会は、23人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

- ・ 質問等の詳細については、市議会ホームページの「インターネット録画中継」または「会議録（次の8月定例会月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。
- ・ QRコードから各議員の質問後の30秒感想動画と質問の録画映像を見ることができます（視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）。

環境 PFAS（有機フッ素化合物）の汚染源を調査せよ



日本共産党 村上 暁

30秒感想動画



質問の映像



議員 市民団体の調査で半導体企業の工場周辺の雨水幹線や河川から高濃度のPFAS（※）の一種であるPFOS・PFOAが検出された。市は対策を講じるべきと考えるがどうか。

環境部長 PFOS・PFOAは水質汚濁防止法における排水基準に設定されていないが、事業者が今年4月から活性炭によりPFOAを除去しつつ原因究明を行っており、調査結果の報告を受ける予定である。事業者と情報共有するとともに、今後の状況を注視していく。

議員 市民団体による調査では、三滝川の上流地点である矢合川でも、高濃度のPFOS・PFOAが確認されている。今後は上流地点も調査対象とし、汚染源を特定する必要があると考

える。市内各地で高濃度の値が検出されている中で、調査や対策を行う考えはあるのか。

市長 今年度から河川の環境基準点3カ所全てで年2回の調査を行う。その結果を確認の上、必要に応じさらなる調査を検討する。上水道は令和2年度から年2回、配水エリアの公共施設の給水栓や5カ所の水源地で検査を行い、全て暫定目標値を下回っている。今後も市民が安心して水を利用できるよう適切な水質管理を行う。

議員 四日市市環境基本条例は、良好な環境の保全と創造を目的としており、産業公害の防止などを基本方針としている。過去の公害の教訓を生かし、PFASによる汚染の原因追求と対策を早急に変更するよう求める。

※ 工業的に作られる有機フッ素化合物の総称。代表的なものとして、PFOS・PFOAがある

福祉 軟骨伝導イヤホンでコミュニケーション保障を



公明党 中川 雅晶

30秒感想動画



質問の映像



議員 集音器付き軟骨伝導イヤホン（以下、軟骨伝導イヤホン）は、軟骨の振動で音を伝えるイヤホンで、補聴器と違い、個別調整の必要がなく、周囲の状況に影響されずによく聞こえる。また、手軽に配備できるので、さまざまな施設で導入が広がっている。本市の窓口にも導入すべきではないか。

健康福祉部長 窓口にはコミュニケーションの手段に配慮が必要な人が来ることがあるため、集音器や会話を補助するタブレット端末を設置している。軟骨伝導イヤホンは補聴器などの医療機器よりも安価に購入できるといった特徴があるが、高齢者の難聴に対する効果や利用頻度などの検証が必要である。まずは製品のレンタルにより窓口等で試行して効果検証を行い、その上で導入について検討したい。

議員 認知症の発症要因の一つが難聴だと言われている。本市の認知症フレンドリー宣言の考えに基づき、コミュニケーション保障を充実させ、高齢者の社会参画促進のために導入すべき

ではないか。また、他の自治体では購入補助制度を設けており、その補助実績もある。本市でもニーズがあると考えられるので、購入の補助制度を導入すべきではないか。

健康福祉部長 現在、医療機器である補聴器の購入補助制度について検討している。軟骨伝導イヤホンの補助については、その需要や効果、必要性について研究したい。



集音器付き軟骨伝導イヤホン

障害者福祉 高次脳機能障害への理解を深めよ



日本共産党 太田 紀子

30秒感想動画



質問の映像



議員 高次脳機能障害は、病気や事故による脳の損傷により、脳機能の一部に障害が生じた状態である。外見からは分からず、隠れた障害と言われる。本市の高次脳機能障害のある人に関する相談支援体制や利用できる福祉サービスを確認したい。

健康福祉部長 市内の法人に障害者相談支援事業を委託し、日常生活における相談業務を行っており、本年4月からは総合的・専門的な相談業務などを加え、事業を拡充している。また、県においては、高次脳機能障害に特化した相談窓口が設置され、支援が行われている。主な福祉サービスとしては、自立訓練（※）や就労に向けた支援などがあり、本人の障害の程度や事

情に合わせたきめ細かな支援に努めている。

議員 世間から障害の認知度が低いために支援が行き届かないケースもあると聞く。市のホームページには高次脳機能障害について紹介した場所がなく、相談先が分かりにくいので工夫すべきではないか。

健康福祉部長 ホームページに障害者（児）福祉のてびきを掲載し、障害者施策全般の情報を掲載しているが、相談窓口にチラシを配架するなど、必要な時に情報を得られるよう効果的な案内方法を検討したい。

議員 後天的な障害だからこそ、誰もが高次脳機能障害となる可能性があるため、パンフレットを作成するなど十分な啓発活動を求める。

※ 自立した生活ができるように、身体機能の回復のための機能訓練や日常生活動作向上に向けた生活訓練を行う障害福祉サービス

食品ロス 食品ロスの削減に向けた取り組みをさらに推進せよ



公明党 森 智子

30秒感想動画



質問の映像



議員 本市はこれまでも食品ロスを削減するための取り組みを進めてきた。令和5年度から事業者や市民から寄付された食品を、子ども食堂や生活困窮者に提供する食品ロス削減マッチング事業を実施しているが、成果はどうか。寄付をさらに増やしていくため、現在1カ所しかない食品の持ち込み場所を増やし、寄付をする人の利便性の向上を図ってはどうか。また、事業者からの寄付が増えるように商工農水部と連携して取り組みを周知してはどうか。さらに、生鮮食品も対象にできないか。

環境部長 令和5年度は寄付を受けた2582kgの食品のうち2407kgを引き渡しており、一定の成果があった。持ち込み場所については、直ちに

新たな場所を確保することは難しいが、委託先の社会福祉協議会と協議しながら検討したい。また、事業者に対しては、商工農水部と連携して働き掛けを行いたい。生鮮食品の取り扱いには食品管理などの面で多くの課題があり、他自治体などの状況を調査していきたい。食品ロス削減は重要な課題のため、ごみ処理基本計画の改定に合わせて今後さらなる対応を進めていく。

関連質問（樋口博己議員） 北勢地方卸売市場と協力して、子ども食堂や生活困窮者に生鮮食品を引き渡す仕組みを検討してはどうか。

商工農水部長 既存の流通ルートを生かした取り組みができればよいと考えており、市の取り組みを事業者に周知した上で、検討したい。

自治会 デジタル回覧板の導入で自治会活動の負担軽減を



公明党 山口 智也

30秒感想動画



質問の映像



議員 自治会にとって文書の配布や回覧が負担となっており、社会のデジタル化が急速に進む中で、地域での回覧板のデジタル化のニーズが高まっている。福井県坂井市では、回覧板の代わりにスマートフォンなどを使って自治会が地域住民に文書を配信でき、行事への出欠確認なども容易にできるアプリ「自治会サポ！」を運用している。本市でも一部の自治会が独自にデジタル化に取り組んでいるが、すべての自治会が取り組めるよう、市がデジタル回覧板の仕組みづくりを検討すべきではないか。

市民生活部長 デジタル回覧板は一斉に情報を届けることができ、回覧板を回す手間が省けるなどのメリットがある一方、高齢者等の見守り

機能や隣近所のコミュニケーションの機会がさらになくなるとの声もある。持続的な自治会活動を促進するためにも自治会のDX（※1）化の必要性は感じており、自治会のニーズを聞きながら、関係部局と共に調査研究に努める。

総務部長 デジタル化に関する技術面での助言などで、担当部局の調査研究を支援していく。

議員 高齢者等への見守りは別の方法を検討すべきであるし、デジタル回覧板の既読機能（※2）で安否確認もできる。デジタル化で生まれる新たな交流もあり、希薄になりがちな住民の関係性を補完する手段としても有効と考える。また、大規模災害の際の情報伝達や安否確認にも有効である。導入に向けぜひ検討してほしい。

※1 デジタルトランスフォーメーション。進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること
※2 配信した情報を、各受信者が閲覧したかどうか、発信者が確認できる機能

ハラスメント カスタマーハラスメントへの対応策を整備せよ



公明党
荒木 美幸

30秒感想動画



質問の映像



議員 市に寄せられるクレームの中で、職員の業務に支障を来すような要求であるカスタマーハラスメント（※）（以下、カスハラ）に該当する事案はあるのか。また、それに対する対応策はあるのか。

総務部長 職員への過剰な要求や、不当な言い掛かりなどの事案がある。暴力行為や不当要求行為等への対策マニュアルの整備のほか、警察OBの配置や、必要に応じて弁護士の助言をもらうなど、組織として適切に対応している。

議員 ハラスメント防止には知識の習得と事例の共有が重要である。職員を守るべき管理者の責務として、経験の浅い職員にもハラスメント防止に関する研修を実施すべきではないか。

※ 消費者・顧客の立場を利用して、理不尽な要求や謝罪を強要すること

総務部長 中堅職員は、クレーム対応研修を受講しているが、来年度以降、若手職員を対象に、従来の内容に加え、カスハラへの理解も深められるような研修を計画していきたい。

議員 最近、SNSを通じ、個人情報を特定され、誹謗中傷されることが問題になっており、名札の表記を氏名から名字のみに変更する自治体がある。この変更はすぐにでも実施可能であり、職員の安全や安心感を高める具体的な取り組みとして有効ではないか。

総務部長 名札の表記を氏名から名字のみに変えても職員は識別できることから、職員のプライバシーの保護や安心して働ける職場づくりのため、名札の表記方法の改定を検討したい。

生活環境 し尿収集業務の委託内容を精査せよ



政友クラブ
森 康哲

30秒感想動画



質問の映像



議員 本市は、令和2年に市街化調整区域では下水道ではなく、合併処理浄化槽の整備を推進する方針を定めた。くみ取り式トイレのし尿収集は、旧四日市市地域と旧楠町地域（現楠地区）で分けて委託している。公共下水道や合併浄化槽の整備に伴い、くみ取り契約件数は減少しているようだが、近年の状況を確認したい。

環境部長 旧四日市市地域の平成30年度の契約件数は5488件で、令和6年4月時点では3624件である。し尿収集量は、平成30年度は9615klで、令和5年度は7000klである。委託料の予算額は、平成30年度は約2億1410万円で、令和6年度は約2億1527万円である。また、楠地区の平成30年度の契約件数は262件で、令和6年4月時点

※ 下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理等の合理化に関する特別措置法。し尿収集業者の経営安定と収集体制の確保を目的とする

では130件である。し尿収集量は、平成30年度は267klで、令和5年度は193klである。委託料の予算額は、平成30年度は約1407万円で、令和6年度は約1597万円である。

議員 契約件数や、し尿収集量は減っているが、委託料は増えている。見直すべきではないか。

環境部長 近年、主に人件費や燃料費等の高騰のため委託料が増加している。将来にわたり適正な収集体制を確保した上で、必要経費について十分に検証を行い、対応を検討したい。

議員 両地域間における作業量に対する委託料の比率の差も精査すべきである。その上で、合理化特措法（※）に基づく計画の終了に向け、代替業務の移行の推進にもつなげてほしい。

児童 すべての子どもに希望通りの就学前教育・保育を



政友クラブ
森川 慎

30秒感想動画



質問の映像



議員 認定こども園において、1号認定（※1）で入園できない児童は、待機児童として扱っているのか。また、どれだけの認定こども園で、どれだけの児童が入園できなかったのか。

こども未来部長 今年度当初の保育所等利用待機児童は72人いるが、1号認定で入園待ちの児童6人は定義上含まれない。また、公立幼稚園11園では全員希望通り入園できたものの、公立認定こども園10園のうち7園で抽選となった。

議員 1号認定の定員について、どのような考え方に基づき設定しているのか。

こども未来部長 子ども・子育て会議の幼児教育・保育部会とその準備会で協議、調整を行っている。令和7年度には公立幼稚園6園を認定

こども園へ移行する予定であり、過去5年間の児童数の推移や地域的な事情を考慮した上で、実態に即した定員を設定するよう努めていく。

議員 1号認定児が入園直後に2号認定（※2）に切り替えられるため、本来1号認定で利用したい人の枠が制限されている。利用者に多様な選択肢を提供するためにも、十分な利用定員を確保するか、認定区分の変更に厳格なルールを定めるべきではないか。

こども未来部長 保護者の就労状況が変化しても柔軟に認定区分を切り替えられることが制度上のメリットだが、公平性の観点から、認定区分の変更申請時に制限を設けられないか、他自治体の事例も研究していきたい。

※1 幼稚園としての教育の認定を受ける児童に適用される

※2 就労等の保育を必要とする事由に該当し、保育所としての保育の認定を受ける児童に適用される

水道水 農薬から市民の飲み水を守れ



政友クラブ
荻須 智之

30秒感想動画



質問の映像



議員 ネオニコチノイド系農薬（※）の使用により、河川や海の汚染が進行し、人体に悪影響を及ぼしている。水道水の安全性向上には、県の浄水場に整備されているような活性炭処理装置の導入が必要である。本市の浄水場は地表付近の影響を受けやすい浅井戸から取水しているが、活性炭処理装置がないので、これを整備し、化学物質を除去して配水すべきである。また、県に対して常時活性炭処理装置を稼働させ、配水するよう求めるべきではないか。

上下水道事業管理者 本市は水道法に定める水質基準項目と水質管理目標設定項目に基づき、水道水の水質を管理している。ネオニコチノイド系農薬はその項目の中になく、調査はしていない。県はカビ臭対策に活性炭処理設備を導入しており、確認したところ、常時稼働させることは可能との回答があった。本市の施設への活性炭処理装置の導入については、本市の水道水は水道法上の水質基準に適合しており、国の補助金等を受けられないため、整備は難しい。

※ 平成5年頃から使用されている殺虫剤の一種。広範囲の害虫に効果があり、国内で幅広く使用されている

議員 EU諸国では規制や対策が始まっており、本市も対策をすべきだ。深井戸は農薬由来の水質汚染の影響を受けにくいので、本市にも導入し、主水源にするよう要望する。

上下水道事業管理者 深井戸は掘削や揚水設備が非常に高額であり、また、平成24年度の調査結果では水道法上の水道水の水質基準を満たさなかったため、深井戸の整備は考えていない。



県が所有する活性炭処理設備

環境・福祉 住みたくなるまち四日市を目指して



フューチャー四日市
樋口 龍馬

30秒感想動画



質問の映像



議員 ネイチャーポジティブ（※1）の概念を持続的なものとするには、雨庭（※2）のような取り組みを市民、特に子どもたちに理解してもらうことが重要だが、子どもたちへの環境教育をどのように進めるのか。

環境部長 四日市公害と環境未来館で、情報誌や親子を対象とした環境学習講座などで雨庭を紹介し、環境意識の向上を図っている。引き続き水循環の大切さを学ぶ機会を提供するとともに、環境に配慮した生活への意識の醸成を図る。

教育長 自然の仕組みや自分との関わりを学ぶ中で、中央通りの再整備事業にネイチャーポジティブの考えが用いられていることを紹介するなどして、身近な課題を地球規模の課題と結び付け、その解決に向けて自ら行動する「持続可能な社会を創る子ども」の育成に努める。

議員 障害者が一般企業で健常者と共に就労し、その動きが賃金に反映されるような働き方ができる四日市であってほしい。障害者の自立に向けた支援として、札幌市が実施する障がい

者協働事業（※3）を本市でも実施できないか。

健康福祉部長 障害者総合支援法の福祉サービスを基本としつつ、先進事例を研究していく。

議員 早期発見、早期支援を訴え10年経った。本市の障害者支援施策の継続、または変更も視野に入れ、抜本的に見つめ直す時期ではないか。

館副市長 こども未来部をはじめ、福祉、教育を含めた関係施策を全庁的に確認したい。



中央通り再編事業で整備した雨庭

※1 自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること

※2 雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間

※3 障害者の社会参加や自立の促進を目的に、一定の条件を満たした企業に補助金を交付する事業

市政運営 市民の声を受け止めたまちづくりを



政友クラブ
上 麻理

30秒感想動画



質問の映像



議員 市は市政アンケート（※）を実施し、市民の声を聴き取っているが、行政の考えと市民の考えにずれがあると感じている。市政アンケートをはじめ、市はどのような姿勢で市民の声を受け止め、対応しているのか。

政策推進部長 市民ニーズを的確に把握した上で事業を実施することが、市政運営の基本だと考えており、市政アンケートは市民意見を聴取するための重要な手段である。市の施策に対して反対の意見があることで検討が深まり、結果的により多くの賛同が得られると考えている。また、施策の目的や期待される効果などを市民に説明し、施策の方向性を共有しながらまちづくりを進めることが最も重要だと考えている。

※ 市民の声を市政に反映していくため、一定数の18歳以上の市民を抽出して行うアンケート調査

議員 施策の方向性の共有が重要との考えは理解するが、現状は市が既に決定したことの説明をしているだけのように感じる。施策に対するさまざまな意見をどのように受け止めているのか。また、市民が同じ思いを持ち、助け合いながらまちづくりに取り組むべきだが、市民の意見が分かれた結果、進捗が滞っている事業もある。これまでの事業の進め方に問題があると考えているが、今後どのように対応するのか。

政策推進部長 市民の意見に応えられる施策の実施に向け検討を重ねる中で、案件ごとに市民の賛同を得られるような丁寧な説明に努める。

議員 市民の意見を反映し、財政的にも確実に実行できる計画を立て、取り組んでほしい。

健康・産業 骨粗しょう症対策とデータセンター誘致に取り組み



政友クラブ
笹井 絹子

30秒感想動画



質問の映像



議員 骨粗しょう症は骨の強度が低下する骨の病気で、わずかな衝撃で骨折し介護が必要となることも多い。骨粗しょう症は痛みなどの自覚症状がないことが多く、骨量減少者を早期に発見し予防するために、検診の重要性が増している。市は骨粗しょう症対策にどう取り組むのか。

健康福祉部保健衛生担当部長 生活習慣病予防教室等の事業の中で、骨粗しょう症予防のための、バランスの良い食事や運動の必要性を啓発するなど、今後もあらゆる機会を通じ啓発に努める。また、国の動向を注視しつつ、他自治体の先進事例等の情報収集に努め、検診も含めたより効果的な方策について調査研究を進める。

議員 無料検診の実施の積極的な検討を望む。

次に、データセンターとはIT機器を集約して設置し、効率よく運用するために造られた専用施設である。データセンターの建設が進む千葉県印西市では、税収の増加とともに行政サービスを拡充し、人口が増えている。データセンターの立地は、人材育成や新たな雇用の提供などにもつながる。近年、災害リスクの分散の観点からデータセンターの地方への立地が進んでおり、本市でも誘致を検討してはどうか。

商工農水部長 誘致には多くの利点があるが、大量の電力供給や大型化に伴うデータセンターの用地の確保の点で早期誘致には課題もある。

議員 未来に積極的に投資することで、地域経済の活性化につなげることを期待する。

教育 教育現場におけるサポート体制の充実を



フューチャー四日市
伊世 利子

30秒感想動画



質問の映像



議員 昨年度、三重県では、複数の新任教員が退職したと聞いている。山形県では、一部の新任教員に担任を持たせないことで負担を軽減するとともに、サポート体制を充実させ、昨年度の離職者はゼロであった。本市では、新任教員に対して、どのようなサポートを行っているか。

教育長 法定研修のほか、所属校でのサポートや力量向上のための研修体制を構築している。

議員 授業で活用しているタブレットのドリルパークというアプリは、採点が厳しいとのことだが、タブレットの利用に関して、児童生徒や保護者の意見を聞く機会はあるのか。

教育長 アプリの判定精度が一定レベルにあることは、確かな学力を習得するために必要な

能であると考えている。今後も、積極的に児童生徒の家庭での様子などを聞き取りすることで、よりきめ細かな対応ができるよう努めたい。

議員 登校サポートセンターでは、不登校の児童生徒を支援しているが、遠方からは通いづらいという声がある。市はどうか対応するのか。

教育長 登校サポートセンターへの通級が難しい児童生徒に対しては、登校サポートアドバイザーやふれあいフレンドが家庭を訪問することなどで支援を実施している。

議員 これからの学校には、子ども包括支援センターのような福祉的機能が求められる。専門職員を活用するとともに、地域を巻き込んで子どもを育てられる環境を整備してほしい。

小学校 小規模特認校制度をどう活用するのか



フューチャー四日市
小田 あけみ

30秒感想動画



質問の映像



議員 水沢小学校は児童数の減少への対応として、令和7年4月から小規模特認校制度を導入し、本市全体から児童を受け入れると聞いている。広報よっかいちでの周知に対する反響はどうか。また、県内他市の事例を踏まえて、受け入れの募集人数は何人を想定しているのか。

教育長 広報よっかいちだけでなく、教育委員会のホームページやチラシを見た市民から、一定の反響があった。市としては、水沢小学校への入学や転入を希望する児童や保護者に対して、導入の目的が水沢小学校の教育環境の充実であることを丁寧に説明し、現在、当該校に通う児童の教育環境が大幅に変化しないよう募集人数は若干名とし、状況に応じて調整していく。

※ 児童が一定の学習内容のまとまりの中で、自分のペースで学習を進めることができる教育スタイル

議員 同制度を利用する際の水沢小学校への就学条件は、保護者にとってはかなりの覚悟が必要な内容となっている。それに見合う「特色ある教育」とは具体的にどのようなものか。

教育長 自然豊かで落ち着いた地域環境における学び、多様な人との関わりを通じた豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成、小規模校ならではのきめ細やかな教育の3点である。また、今後は水沢小学校に限らず、全校的に自由進度学習（※）という新たな教育スタイルも取り入れていきたい。

議員 小規模特認校制度の導入を契機に先進事例を研究し、本市の子どもたちに新たな学びの選択肢を提供するよう努めてほしい。

ハラスメント カスタマーハラスメントの防止に向けて



フューチャー四日市
後藤 純子

30秒感想動画



質問の映像



議員 カスタマーハラスメント（※）（以下、カスハラ）は大きな社会問題であり、対応方針を作成し、毅然とした態度で臨むことを内外に示す企業や、住民がカスハラに加害者になるケースを防ぐための啓発活動を行う自治体もある。本市もあらゆるハラスメントに向き合うため、職員へのカスハラを防止する条例やガイドラインなどを整備すべきではないか。また、より一層カスハラ防止に向けた啓発に取り組む必要があるのではないかと。

総務部長 職員が安心して働ける環境をつくるため、ガイドラインの策定や相談体制の構築に取り組みたい。また、社会全体の課題として国や県の動向を注視し、条例制定の必要性を含め、

関係部局と協議を始めたい。
市民生活部長 自治会などを対象とした消費生活出前講座では、自らがカスハラに加害者とならないための内容を盛り込んでいる。また、啓発チラシのリニューアルも予定している。今後も国の動向を注視し、他市の取り組みを参考にしながら啓発の拡充に努めたい。

議員 民間企業や国に続き、地方公務員の公務災害の認定指針にカスハラによる精神疾患が追加される予定であり、早急に職員へのカスハラの実態調査が必要だと考えるがどうか。

総務部長 職員へのカスハラの実態を把握するため、毎年度実施する職員アンケートに、新たに設問を設けることを検討している。

※ 消費者・顧客の立場を利用して、理不尽な要求や謝罪を強要すること

学童保育所 市の主導で学童保育所で昼食を提供せよ



新風創志会
辻 裕登

30秒感想動画



質問の映像



議員 学童保育所における昼食提供は、保護者の負担が軽減されるため、ニーズが非常に高い。八王子市では、保護者からの要望を受け、夏休み中の学童保育所において、小学校の給食設備を活用し、昼食を提供している。また、東京都港区では、民間業者へ委託することで、子ども向けの弁当が配達されている。さらに、昼食の注文と決済をアプリ等で行っているため、保護者、学童保育所ともに手間がかからない。本市の保護者や学童保育所のニーズを把握するため、すべての学童保育所を対象にアンケート調査を実施し、そのニーズに基づいて、市として昼食の提供に向けた支援を検討してはどうか。

副教育長 本市ではすべての学童保育所が民設

民営方式で運営されており、食材の調達から食事の提供に至るまでの業務を学童保育所が担う必要がある。八王子市の公設民営方式と異なり、市の給食設備等を活用して学童保育所へ昼食を提供することは、本市においては困難と考える。
館副市長 東京都港区の学童保育所は公設であることから、本市に同様の仕組みを適用することは困難であるが、学童保育所の運営と保護者の負担を軽減するために、市が昼食の提供を支援することは課題の一つであると考えている。各学童保育所のニーズを把握するため、アンケート調査を実施し、より良い支援の在り方について、地域住民などで構成される運営委員会と協議しながら研究を進めたい。

まちづくり 再開発の先を考えた新しい四日市を目指して



新風創志会
谷口 周司

議員 総合計画には全国大会等の大規模なスポーツイベントを誘致するとの記載があるが、実際に開催する際は大型バスでの来訪者が増加するため、受け入れ環境の整備が必要と考える。北勢バイパスの一部開通に合わせ、防災機能を持つ道の駅の整備を進めるべきではないか。

都市整備部長 来訪者増加に対する受け入れ環境整備として、道の駅の設置は総合計画にも記載されており、総合計画の中間見直しの中で、防災機能を持つ道の駅の設置に向けて候補地の選定に向けて取り組む。

議員 宿泊税を導入し、観光客の受け入れ環境の整備や観光資源の創出などの観光行政に役立っている自治体がある。本市も宿泊税を導入すべきではないか。

財政経営部長 本市の宿泊者の約70%がビジネス利用で、観光施策の財源となる税をビジネス利用客からも徴収することや、宿泊事業者の事務負担が増えることなど、検討すべき課題がある。調査研究を進めつつ、他の自治体の動向も

注視したい。

議員 全国植樹祭は国土緑化運動の国民的行事であり、県が令和13年の招致を表明している。県の施設である本市の北勢中央公園での開催に向けて積極的に招致活動を行ってはどうか。

市長 全国植樹祭の開催は大きな意義があると考えており、三重県での開催が決まれば、本市への招致に向けて前向きに取り組む。



令和6年能登半島地震で活用された防災機能を持つ道の駅

30秒感想動画



質問の映像



部活動 部活動の地域移行で生徒に持続可能な活動の場を



無会派
今村 厚美

議員 本市の中学校の部活動数は、少子化による生徒数、教員数の減少に伴い、平成27年度は432だったが、今年度は397に減少している。部活動環境の整備や教員の負担軽減が必要であり、昨年度開始した休日の部活動の地域移行が有効と考えるが、今後、どう進めていくのか。また、地域移行の手段の一つである、拠点型活動（※1）の効果と指導者等の体制はどうか。

教育長 「四日市市部活動在り方検討会」で、ガイドラインの策定や地域移行の推進について検討を進めてきた。現在、総合型地域スポーツクラブ（※2）との連携と拠点型活動の二つを柱に地域移行を進めている。今年度は四つの総合型地域スポーツクラブへ指導業務委託を行っており、順次対象種目が拡大される予定である。また、拠点型活動により、生徒が休日に希望する運動、文化活動に取り組める環境を保障でき、生徒や保護者にも好評で、意義ある活動の場となっている。地域の道場や少年団等の指導者のほか、希望する教員も指導に当たっている。今

後、休日に活動しているすべての部活動の種目、活動で拠点型活動の実施を目指している。

議員 持続可能な活動の場を生徒に提供するため、市内をブロックに分け段階的に取り組むなどして、部活動の地域移行を早急に進める必要がある。「子どもの最善の利益」となるよう可能な限り多くの選択肢を用意し、誰一人取り残される子どもがいないようにしてほしい。



三重県中学校総合体育大会三河地区予選での部活動の様子

30秒感想動画



質問の映像



※1 地域で生徒が運動、文化活動に親しめるよう、運動施設や学校施設を拠点に地域の指導者等が指導する活動
※2 多目的、多世代、多志向という特徴を持つ、地域住民により自主的かつ主体的に運営されるスポーツクラブ

子育て支援 一人親家庭の支援の改善と充実を



新風創志会
山田 知美

議員 一人親家庭等医療費助成は、18歳未満の子どもを扶養する一人親家庭の保護者と子どもの医療費を助成する制度で所得制限があるが、前年または前々年の所得で判定するため、直近に収入が激減した人は給付が受けられず、苦しんでいる。一人親家庭等医療費助成の基準は自治体の判断で変更できるのだから、所得制限を緩和してはどうか。

館副市長 既に子ども医療費助成の所得制限を撤廃しており、今年度に対象年齢を18歳到達後の年度末まで拡大する予定のため、一人親家庭の子どもの医療費は基本的に無料となる。一人親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃については、他の制度との関係や施策の優先順位を考慮

しながら検討する必要がある。

議員 ひとり親家庭等日常生活支援事業は、一人親家庭等が一時的に保育サービスや生活援助を必要とする場合に、家庭生活支援員を主に自宅へ派遣する事業であるが、年々、利用実績が減少しているのはなぜか。

館副市長 コロナ禍で家庭への支援員派遣が難しくなったことが第一の原因である。代わりに、子どもを施設で預かるショートステイの利用を勧奨してきたが、今後は他の代替事業についても調査等を行いながら支援体制の確保に努める。

議員 利用者のニーズに応じて必要な情報を届けるとともに、より柔軟に運営できるよう外部委託の可能性を含めた調査研究をしてほしい。

30秒感想動画



質問の映像



防災 災害後も生き残るために



新風創志会
平野 貴之

議員 地震でブロック塀が倒壊すると、人が下敷きになる危険がある上、倒壊したブロックは避難や復興の妨げとなる。市内にはまだ多くの危険なブロック塀があるようだが、数は確認できていない。現状を把握するため、AIなどの最新の技術の導入を検討してはどうか。また、市はブロック塀の撤去を促すための補助制度を設けているが、他市を参考に補助金額を増額し、危険なブロック塀の撤去を集中的に進めることも検討すべきである。

危機管理統括部長 倒壊の恐れのあるブロック塀を把握することは重要だと考えており、最新の技術の活用を含め、危険なブロック塀の状況を把握する方法について、関係部局などと協力

して、調査研究をしていきたい。

議員 令和6年能登半島地震では、石川県七尾市にボランティアの拠点としてテント村が開設され、被災者と直接交流できる場となった。また、テント村では全国から集まったボランティア同士の情報交換が活発に行われ、結束が強まり、復興に大きく寄与した。本市でも災害時にこうしたテント村を開設すれば、迅速な復興と被災者へのきめ細かな支援につながると考える。市として、テント村の開設を想定して準備を進めるべきではないか。

危機管理統括部長 災害時の受援体制を検討する中で、四日市市災害時受援計画に基づき、関係機関などと連携し、調査研究を行いたい。

30秒感想動画



質問の映像



まちづくり 中央通り再編事業で生じる市民の不安解消を



市民目線の会
水谷 一未

議員 中央通り再編事業に伴う道路の切り替え工事により、バス停留所の位置や横断歩道の場所が変更された。通り慣れた道路の変化に戸惑う市民も多く、事故につながらないかと危惧している。今後、どのようなスケジュールで道路の切り替えを行うのか。

都市整備部長 今年の秋に西向き車線の一部で2回目の道路の切り替えを行う。来年の秋には、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅までの車道を中央通り南側に集約する3回目の切り替えを行う予定である。通行する市民にとって不便となるが、安全に配慮して工事を進めたい。

議員 市民の不安を取り除くため、工事の進捗状況や今後のスケジュールを分かりやすく周知

する必要があると考える。市ホームページに動画などを掲載してはどうか。

都市整備部長 これまでも案内看板等で情報を発信してきたが、今年1月の道路切り替え時には一部で混乱が生じた。今後はこれまでの対策に加え、歩行者向けに工事現場の囲いにQRコードを掲示し、市ホームページへ誘導するほか、図面や動画を活用して道路の切り替えなどの情報を周知する。今後も施工業者や国と連携しながら、分かりやすい情報発信に取り組む。

議員 QRコードの活用や動画による周知など、きめ細かな対応を評価する。市民の不安が解消し、安心して近鉄四日市駅周辺に来られるように引き続き取り組みを行ってほしい。

30秒感想動画



質問の映像



教育 夜間中学分校の市内開設に取り組み



市民目線の会
こぼやし ひろつぐ
小林 博次

30秒感想動画



質問の映像



議員 本市の不登校児童生徒数は、令和4年度は725人で、令和3年度以前不登校だったが令和4年度に再登校できるようになった児童生徒数は52人であり、子どもの学校離れが進んでいると感じる。本市でも対策に取り組んでいるが、学校が子どもの状況を把握できていない例もあり、しっかりと対応すべきである。また、不登校のまま成人した人もおり、そのような場合の対応として、令和7年4月に夜間中学として三重県立みえ四葉ヶ咲中学校が開校する。本市に夜間中学の分校を開設できないか。

教育長 県は、中学校に通っている不登校生徒も通学できるよう、開校予定の夜間中学が学びの多様化学校（※）としても指定されるように

※ 国の指定を受け、不登校の児童生徒に配慮した特別な教育課程を実施することができる学校

国への申請に向け準備している。本市にも学び直しの機会を必要とする市民は一定数おり、就学機会の提供に向けた取り組みは必要であるため、以前から本市への分校の設置を県に要望してきた。北勢地域の児童生徒、保護者や在住・在勤者等を対象に県が行った調査では、夜間中学が近くにあれば学んでみたいとの回答が多く寄せられ、ニーズの高さが改めて示された。調査結果を受け、県は北勢地域への分校の設置を検討するとしており、本市でも引き続き分校の設置を強く要望していく。

議員 不登校のまま学齢期を過ぎ、成人した人に対応できる行政の部局はほとんどない。市として何ができるのか検討し、対応すべきである。

健康づくり 運動機会の創出で高齢者の健康寿命を延ばせ



市民目線の会
たなか とおる
田中 徹

30秒感想動画



質問の映像



議員 健康寿命を延ばすため、市民が主体的に介護予防の体操である「いきいき100歳体操」を実施したり、介護予防ボランティアの「ヘルスリーダー」として活動したりしている。高齢者の健康づくりをサポートすることは重要だと考えるが、どのような支援を行っているのか。

健康福祉部長 市民が主体的に行っている介護予防の取り組みは多数あり、団体の立ち上げや運営にかかる助言、経費の補助などの支援を行っている。また、介護予防ボランティアのスキルアップなどにも取り組んでおり、引き続きさまざまな支援を行っていく。

議員 健康づくりに関するさまざまな事業を四日市市社会福祉協議会に委託しているが、市も

責任を持って取り組んでほしい。次に、さまざまな運動ができる四日市ドームは高齢者の健康づくりにも利用されているが、今後、老朽化による改修等のため、長期間利用できなくなる可能性がある。そこで、市内各地にコンパクトで建設費を抑えた屋根付きの多目的運動広場を整備してはどうか。

シティプロモーション部長 四日市ドームの代替施設として屋根付きの多目的広場を市内各地に整備することは、費用面から難しい。四日市ドームが休館する場合は、市内の別の運動施設を案内し、利用機会の確保に努めたい。

議員 運動を通じて、市民がいつまでも健康的な生活が送れる四日市を目指してほしい。

SNSで情報発信！

四日市市議会では、SNSで議会の日程や議会の行事、市民意見の募集など、さまざまな情報をいち早くお届けしています。ぜひ登録をお願いします！

フェイスブック

X

インスタグラム

LINE

スレヅ



よっかいち市議会だより#こども号を発行しました

令和6年7月、市議会に興味をもってもらうため、「よっかいち市議会だより#こども号」を発行し、市内の小中学校と特別支援学校に通学する児童生徒の皆さんに配布しました。市議会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



6月定例会月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんのご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。

◆詳しくはホームページへ→



- ◆消防出張所整備事業費 3件
 - ・スケジュール、コスト面、設計などの情報が市民に届いていない。
- ◆児童手当・児童手当給付事務費 6件
 - ・所得制限の撤廃についてはもう一度検討する余地があるのではないか。
 - ・制度改正を広く知ってもらえるように周知してほしい。
- ◆産地生産基盤パワーアップ事業補助金 4件
 - ・四日市市ではかぶせ茶の生産が盛んだが、小麦も市の特産品となるように取り組んでほしい。

- ◆耐震化促進事業費(木造住宅耐震補強補助制度) 2件
 - ・災害時の被害を小さくするため、補助の対象となる家屋の所有者へ制度の案内を送付してはどうか。

8月定例会月議会については、8月21日(水)に市議会ホームページと「四日市市議会×まちだん」に議案および議案資料を掲載し、8月27日(火)午後5時までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

定例会月議会の報告と意見交換を行いました ～2月定例会月議会 議会報告会～

3月28日、30日に議会報告会を開催しました。いただいたご意見は、市議会でも周知を図り、今後の議会活動や市政発展への参考とさせていただきます。

◆会場での主な内容を要約してご紹介します。詳しくはホームページへ→



3月28日(総合会館)

問 市は第5次障害者計画を発表したが、議員もこの計画の内容をしっかりと把握し、障害者福祉について考えてほしい。

答 委員会でも障害者福祉、高齢者福祉に関する議論が増えてきたと感じている。計画されている施策や事業が実施されるよう取り組む。

3月30日(三浜文化会館)

問 兄弟姉妹が同園入園できるように取り組んでいる自治体もあるが、四日市市でも取り組むべきではないか。

答 本市でも同園入園できるように取り組んでいるが、保育士不足のため実現に至っていない。解決すべき課題であるとの認識は市とも共有している。

人事案件

〈教育長〉

廣瀬 琢也 (再任)
住所：大谷台二丁目

〈農業委員会委員〉

伊藤 明洋 (新任)
住所：北野町

意見書

- ◆地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書
- ◆聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書
- ◆健康保険証の存続を求める意見書
- ◆防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書
- ◆再審法改正を求める意見書 (提出先：内閣総理大臣 ほか)

市議会モニター委嘱式

令和6年度の市議会モニター委嘱式を5月28日に行いました。市議会モニター(45人)の皆さんには、市議会の運営に関する意見、提言などをお願いしています。



議会を傍聴してみませんか

市議会はどなたでも傍聴できます。本会議は市役所11階の傍聴席に、各常任委員会は市役所11階の各委員会室、全員協議会室にお越しください。

8月定例会議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

月	日	内 容	開始時刻	月	日	内 容	開始時刻
8	28(水)	本会議 初日(議案説明 ほか)	午前10時	9	30(月)	本会議(一般質問)	午前10時
	30(金)	本会議(質疑・委員会付託 ほか) 各常任委員会/予算、決算各分科会			1(火)		
9	2(月)~4(水)	各常任委員会/予算、決算各分科会 *予備日は5(木)	午後1時	10	2(水)	本会議(一般質問、質疑・委員会付託 ほか)	午後1時
	10(火)~12(木)	決算常任委員会 全体会 *予備日は13(金)			3(木)	各常任委員会/予算各分科会	
	17(火)	予算常任委員会 全体会 *予備日は18(水)			4(金)	予算常任委員会 全体会	
	24(火)	本会議(委員長報告・採決 ほか)			7(月)	本会議 最終日 (委員長報告・採決 ほか)	
	26(木)、27(金)	本会議(一般質問)			午前10時		

※委員会は予定より早く終了する場合があります。
 ※ 一般質問はCTY122ch(サブチャンネル)で放送する予定です。
 ※ 本会議と委員会は市議会のホームページで生中継します。録画配信もご覧いただけます。

事前申し込みは不要です!

8月定例会議会 議会報告会

10月22日(火)

時間：18:30～20:30
会場：総合会館 7階 第1研修室

お気軽にお越しください。

第1部の議会報告会では議案の審査について報告します

第2部のシティ・ミーティングでは市民の皆さんと意見交換を行います




※手話通訳、要約筆記します(事前予約は不要です)。
 ※状況によっては、予定時刻より早く終了する場合があります。
 ※気象状況などによっては開催を中止する場合があります。なお、開催中止の場合は、市議会ホームページやSNSでお知らせします。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

「よっかいち市議会だより」は、環境にやさしいペジタフルインキを使用しています。

あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

広報広聴委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎石川 善己 ○伊藤 嗣也 上 麻理 樋口 龍馬
水谷 一未 村上 暁 森 智子 山田 知美

発行/四日市市議会 編集/広報広聴委員会

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

Eメールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ 四日市市議会 検索

18